



Supported by
Yantu.com

サマーキャンプ°2025

概要：

国内外から中学生・高校生が岩手県釜石市根浜に集まり、様々なワークショップや海でのアクティビティを通して海の安全や海洋環境、東日本大震災や防災などについてバイリンガルな環境で学びます。人命を助けるための応急処置のスキルを実際に習得したり、海でのレスキューで用いるロープワークを学んだり、廃プラスチックから新しい製品を作るアクティビティ、レスキューボート乗船やセーリング体験、漁業見学も行います。参加者は、近年ますます深刻になる海洋問題や海洋安全について学び議論し、最後にはプラスチック削減に向けてのそれぞれのマニフェストを作成します。

対象：中学1年生～高校3年生（日本国内外からの参加）

開催日時：2025年3月（4泊5日）

開催地：岩手県釜石市根浜海岸

宿泊場所：根浜民泊sasaki、民宿前川

参加費：1名 105,000円（アクティビティ、保険料、宿泊費、食費を含む）

協働：一般社団法人根浜MIND

プログラム内容（暫定）天候によって変更になる可能性があります。

1. オーシャンリバイバル：

プラスチックが海に与える影響、再利用やリサイクルではなく、プラスチックの使用をやめる必要があることを学び、ワークショップの最後には、グループごとに、プラスチックを減らすための行動を誓う「マニフェスト」を作成します。

2. プレシャスプラスチックワークショップ：

Atlantic Pacific Japanがもつ、プラスチックをリサイクルする「プレシャスプラスチック」の機械を用いて、廃プラスチックから、有用で価値のあるアイテムに作り変える体験をします。

3. 漁業見学：

根浜の漁師さんが毎日の仕事（網の点検や漁の様子など）に案内してくれます。また、大槌湾で獲れる魚や旬の海産物を見学します。

4. 震災について：

東日本大震災について地域の方からお話を聞きます。また、震災後から今に至るまでのまちづくりについて興味深いお話を聞き、そこからの学びをどのように他の場所で生かすことができるかを参加者自身が考えます。

5. セーリング体験：

釜石ヨットクラブのプロの方から、セーリングの原理から学び、実際に大槌湾内で帆走を学びます。

6. サーチ&レスキュー体験：

水中や水辺で安全に行動するために必要なスキルや、緊急時に役立つ方法を学びます。レスキューで使うロープの扱い方や結び方、ボートのナビゲーション、潮の満ち引きや天候、海の安全などの基礎から学び、根浜海岸にある救命ボートで実際に小型RhIBの運転や操縦を学びます。

7. ライフセービングセッション：

釜石ライフセービングクラブのライフセーバーさんから、海での色々なライフセービングについて実践的に学びます。

8. 応急処置ワークショップ：

応急処置方法や緊急時の対処法を学び、実践します。

9. 心理的応急処置ワークショップ：

災害時や緊急時に身体だけでなく、自分自身と周囲の人々の心の健康を維持・保護する方法を学びます。

プログラム参加で期待されること：

- 自信の向上
- 時速可能な開発目標（SDGs）についての理解促進
- 基本的な応急処置スキルの習得
- 英語会話力の向上
- 人道支援活動に対する理解促進
- 新しい知識と実践的スキルの習得
- リーダーシップとチームワークスキルの向上
- 新しい同世代の友人
- 忘れられない思い出
- プログラム修了証（レジュメやポートフォリオにお使いいただけます）

過去の参加者の声：

- 地域コミュニティが大好きになりました。そして、スタッフ全員が本当に親切でした。全てのアクティビティが他にはないもので、とても魅力的でした。それぞれのスタッフが異なる内容について参加者に教えてくれたのが良かったです。
- 東日本大震災についてのセッションでは、今でも残っている問題や、実際に地域の人に聞いてみなければ分からない問題も知れてとても良い機会だった。

保護者の声：

- 親目線から見ると、釜石という地で「溺死を防ぐために救命艇がないところに救命艇を提供し防災教育を行う」というビジョンをもった国際NGO団体が主催し、釜石の地域社会が協力して実施する本プログラムは非常に意義があると思います。世界中から学生を釜石に集め、早急に解決が求められる世界の課題について話し合い、行動変容を促すために、プログラム内容が良く練られているように感じました。最近は中高生向けのアイデア創出系やテック系のキャンプが花盛りですが、うわべや小手先ではない、より人間の本質に近い部分を問うグローバルリーダーズサミットは価値が高いプログラムだと思います。開催していただき本当にありがとうございました。